

# 主体的・対話的で深い学びの 視点からの授業改善

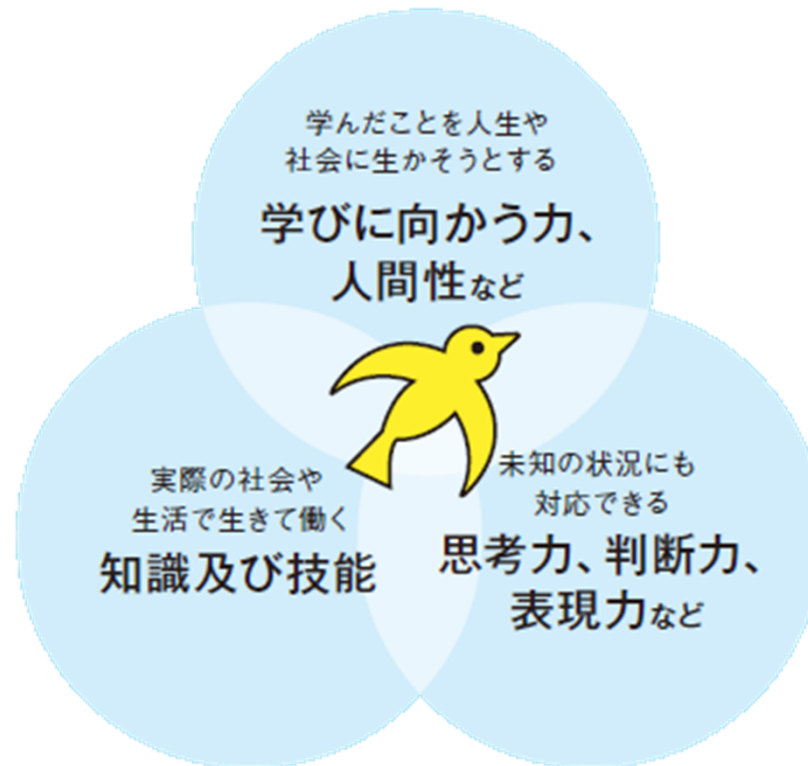
---



# 新しい学習指導要領で目指すこと



新しい学習指導要領では、育成することを目指す  
資質・能力を3つの柱で整理しました。



このような資質・能力を育むため、各学校で子供たちがどのように学ぶのか(主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善)を紹介します。



# 基本の考え方

---

# 基本の考え方

---



子供たちに「生きる力」を育む

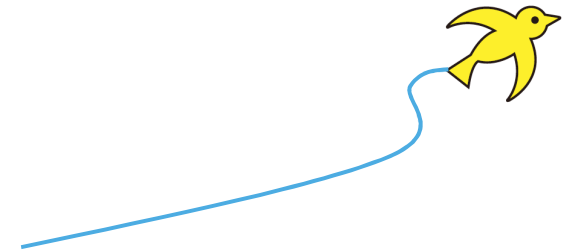


目指すのは...

「何ができるようになるか」

---

大切なのは、  
「何を学ぶか」だけではありません。





そのために...

**「どのように学ぶか」**

---



「主体的な学び」になっているか

「対話的な学び」になっているか

「深い学び」になっているか



という視点から、授業をよりよくしていく



いわゆる

# アクティブ・ラーニング

---

の視点からの授業改善



## アクティブ・ラーニング

子供たちの頭の中が  
「アクティブ」に働いているか？

ただ話し合ったり、発表したりすることではありません





どんな授業にしていくの？

---

# どんな授業にしていくの？



見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に

例えば、**技術・家庭**で...



材料と加工の技術によって生活の問題を解決する授業

家族が必要としている棚や椅子を設計・製作する際に、つくりながら、**うまくいかないところを修正したり、よりよいものを目指して改善したりしていく必要がある。**



## 授業改善の視点

どうしたら、見通しをもって作業したり、粘り強く考えたりすることができるだろうか。

**「主体的な学び」**の視点

### 具体的な手立て(例)

- ・使う人のニーズを確認させ、設計・製作することの大切さに気付かせる。
- ・必要な作業手順を考えさせ、完成への道筋のイメージをもたせる。
- ・つまづいている生徒を励まし、修正の手立てを助言する。
- ・問題の解決を振り返る場面を設け、自らの学びの成果を自覚させ、次の学びに主体的に取り組ませる。

# どんな授業にしていくの？



自分の学びを振り返り、  
次の学びや生活に生かす力を育む授業に

例えば、**体育**で...

## 跳び箱の授業

「学習カード」を活用して、今日は何がうまくできて何ができなかったのか、更に上手に跳ぶにはどうすればよいかなどを考え、次に生かす。



## 授業改善の視点

どうしたら、振り返る内容を充実させ、次に生かせる気付きに導くことができるだろうか。

「**主体的な学び**」の視点

### 具体的な手立て(例)

- ・自分の学びの過程を蓄積し、成長を確かめられるようにする
- ・友達からの視点を取り入れられるようにする

# どんな授業にしていくの？



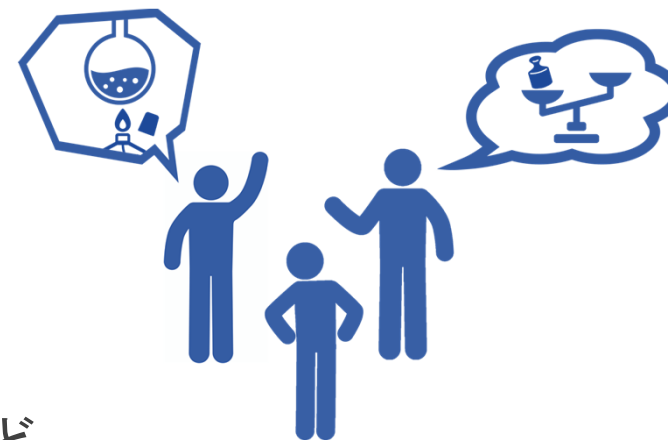
周りの人たちと共に考え、学び、  
新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

例えば、理科で...



## 物の溶け方の授業

「水に溶けた食塩のゆくえ」について、  
グループに分かれて、蒸発させる・重さを測るなど、  
様々な方法で調べ、考えた結果をグループ間で共有する



## 授業改善の視点

どうしたら、グループ間の議論を深め、  
様々な視点で考えを深めさせられるだろうか。

「対話的な学び」の視点

### 具体的な手立て(例)

- ・「こうなるはずだ」という結果の見通しをもって実験を行うようにする。
- ・実験の結果から考えたことの妥当性を検討する場を設定。

# どんな授業にしていくの？



一つ一つの知識がつながり、「わかった！」  
「おもしろい！」と思える授業に

例えば、**社会**で...



## 安土桃山時代についての授業

- ・鉄砲の伝来について、「他の場所にも伝わっていたかもしれないのに、なぜ種子島から鉄砲が全国に、しかも急速に広がったのだろうか」などの問いを立てて、地図や、地域の伝統的な製鉄技術の存在、当時の九州の政治的な状況などについての資料を読み取り、根拠に基づいて問いについて考察し、お互いに意見を出し合ったり、話し合ったりする。
- ・話し合いの結果を踏まえ、さらに「なぜ鉄砲を伝えたポルトガル人は中国船に乗ってきたのだろうか」などを考察し、南蛮貿易や朱印船貿易、明や朝鮮との関係、豪商の活動などを結び付けて、当時の社会の様子や特色について話し合ったり、お互いに説明したりする。

### 授業改善の視点

どうしたら、知識をつなげ深く理解したり、  
考えを形成したりできるだろうか。

「**深い学び**」の視点

#### 具体的な手立て(例)

- ・考察の根拠となる資料(文章、絵、映像、遺物等)を用意し、様々な立場から話し合う場面を設定する。
- ・つまづいている生徒には、資料を読み取る際の視点や考察を促すような視点を示唆して、意見を形成できるように助言する。

# どんな授業にしていくの？

---




もちろん、ここで示したのは  
あくまでも授業をよくしていくための一例...

**授業をよりよく改善していき、  
子供たちの力をしっかりと育む**

そのために、全国の先生が、  
様々な工夫をこらしています。



これまででも、これからも   
大切にすること

---

# 学びを人生に生かすために

---



子供たちが社会に出てからも  
学んだことを生かせるように

**各教科等を通じて得た力が  
将来にもつながるように**

子供たちの一つ一つの学びを大切にします。

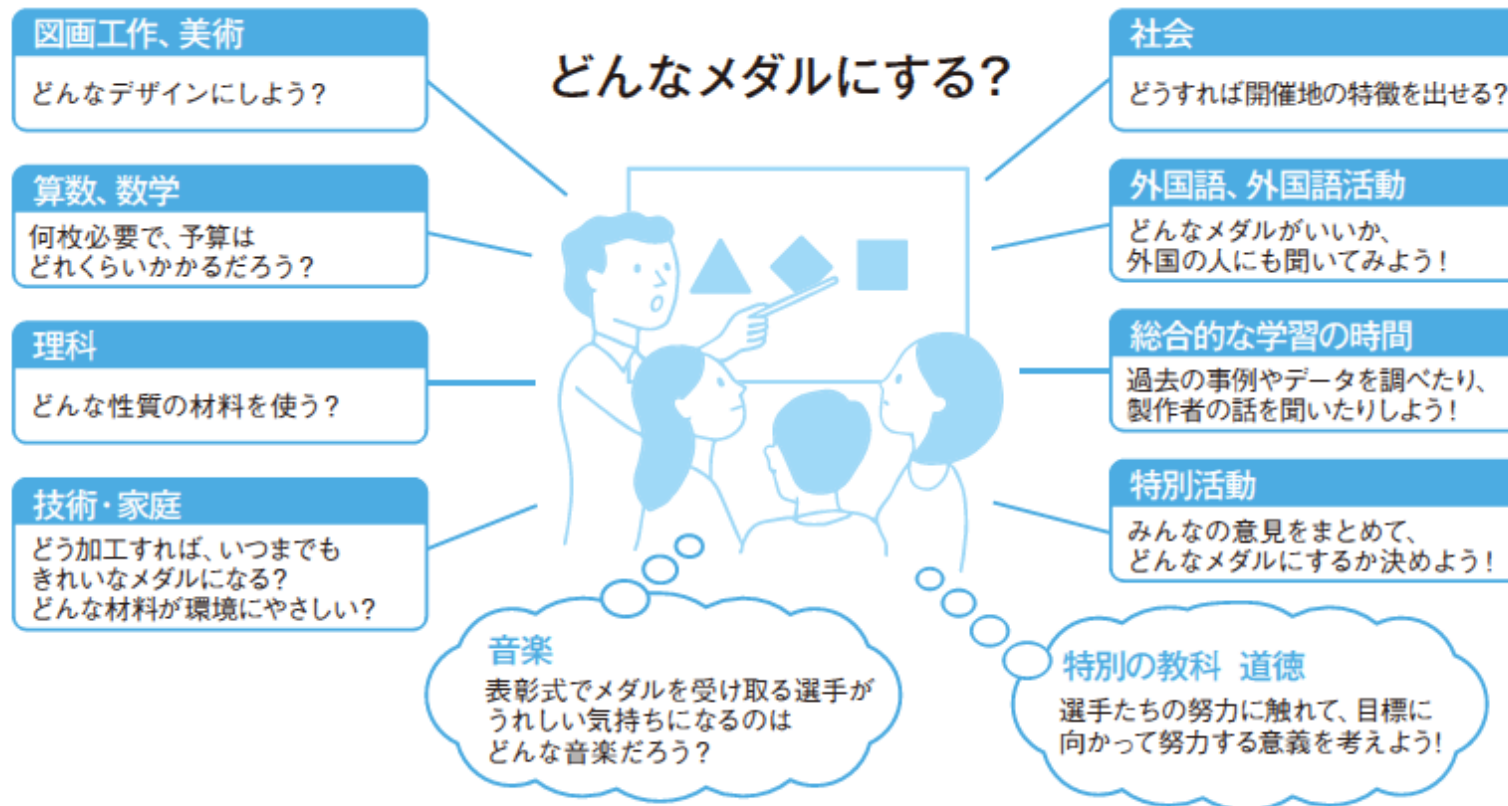


# 学びを人生に生かすために



同じ物事でも、  
教科ごとに多様な捉え方をします。

例えば、「オリンピック・パラリンピックのメダルづくり」というテーマで考えてみると...



**国語** このような話し合いや説明資料の作成にも、国語を要とする全ての教科等の学び（言語活動）が生かされています。

# 学びを人生に生かすために



同じ物事でも  
多様な捉え方をすることで

これまで気付かなかったことに、  
**気付く**

考えもしなかったことにまで、  
**考えが深まる**

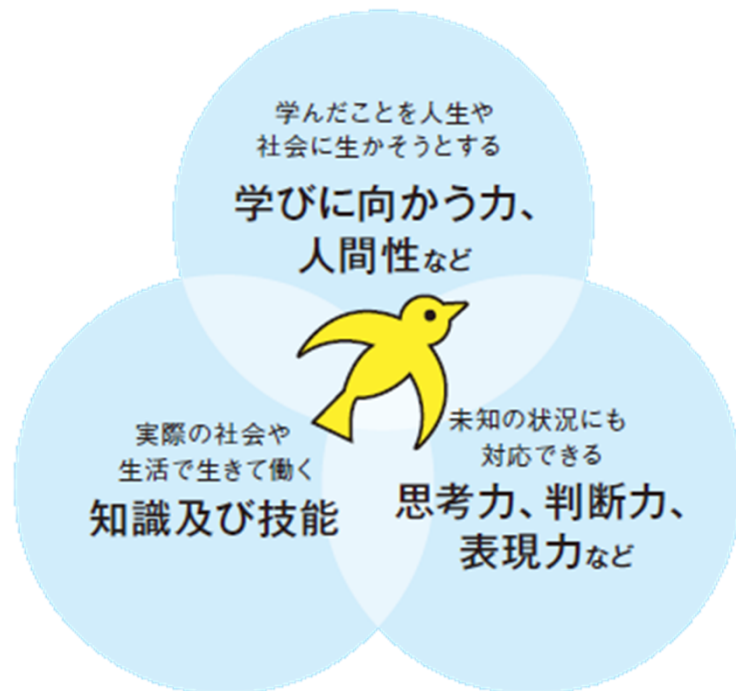
そのことが、  
人生を**豊か**にします。



# 変わらず大切にすること



「主体的・対話的で深い学び」の視点から  
授業をよりよくしていくことは、  
**知識の習得**をおろそかにすることではありません。



主体的・対話的で深い学びの  
視点からの授業改善を進め、  
子供たちの力を**バランスよく**  
育んでいきます。